

平成29年度 学校関係者評価書

学校名	和歌山市立三田小学校
作成日	平成30年 3月13日

1

主体的・創造的な子どもを育てる。

2 学校の自己評価についてのご意見

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の方々をゲストティーチャーとして招き、地域の教育資源を活かす学習を積極的に進めることは大切と思います。地域に根付いた学校づくりの一助にもなります。 ○学年だより、学校だよりの充実はもちろんのこと、ホームページの積極活用も必要ではないかと考えます。 ○保護者アンケートは生の声が反映されています。その声を反映した取り組みをお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> ○豊かな心を育むために、道徳の授業の充実、また、植物や小動物を育てることやあいさつ運動に積極的に取り組むことは大切だと思います。 ○小学校時代の道徳教育は、その後の人間形成に大きく影響を及ぼすと思います。確かな指導をお願いします。 ○挨拶や清掃は、社会の基本ですが、一方で社会人でもままならない人もいます。早い段階で、「当たり前」のことで気づかせていただきたいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ○一人ひとりの基礎学力の定着、コミュニケーション力の育成は、今後成長するなかでも大切となるので、積極的に伸ばす授業づくりを行ってほしいと思います。 ○基礎学力は日々の継続により備わっていくものだと思います。朝学や基礎学タイムは有益な取り組みで、今後も継続・充実していただきたいです。 ○「かく」ことに加え、活字を読む習慣づけもお願いしたいと思います。
取組の状況に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ○授業では、稲作を始め餅つき、しめ縄づくりなど、地域の特性を活かした学習が行われています。また、地域探検を通じて地元を知ることも大切だと思います。 ○子どもまつりや餅つき体験では、地域の皆さんからもご協力いただき、地域全体で子どもたちを育てているという環境ができています。 	<ul style="list-style-type: none"> ○掃除も学習のひとつと位置づけていることで、児童の取組も真剣になると思います。 ○PTAでの通学路整備でも多くの子どもたちが参加し、意識の高まりを感じます。 ○自分が育てた植物が育った時の喜びは大きいもので、家でもうれしそうに話をしてくれます。 ○挨拶を交わすことは人とのコミュニケーションにおいて基本となるので、これからも積極的に取り組んでほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもたち一人ひとりに応じた指導を行い基礎学力の定着に力を入れている。 ○朝学習や基礎学タイムなど、継続した取り組みが行われており、着実な学力向上に繋がっていると思います。 ○継続した取り組みには「飽き」も出てくるものですが、先生方の取り組みのおかげで子どもたちも興味をもって学習していると思います。
検証結果に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者アンケートを通して、半数以上の方は学校は、学校の教育活動や子どもの様子を、保護者に分かりやすく伝えていると答えているが、28%の保護者はそうは思わないと答えている。さらに伝えていく必要があると思われる。 ○保護者アンケートの結果の中で、「いじめをなくす学校・学級づくりに取り組んでいる」に対し28%が「あまり思わない・思わない」という結果になっています。3割が学校の取組に対しては評価していない結果で、早急な対応をお願いしたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者アンケートで「学校は子どもに生命を大切に心や社会のルールを守る態度を教育している」の「とてもそう思う」「まあ思う」の合計が77%であるのに、「学校は、いじめをなくす学校・学級づくりに取り組んでいる」は57%になっているという結果は少し疑問に感じる。 ○昨年に続き、児童アンケートの掃除と挨拶の項目で、高学年の「とてもそう思う」が37%、45%と他の学年に比べて低くなっています。「当たり前」のことも、「なぜしなければならないか」を理解させることも大切だと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童アンケートの「私は毎日の勉強がわかる」で、全学年を通して「分からない」「あまり分からない」が18%とでているため、さらなる基礎学力の定着に力を入れていく必要があると感じます。家庭学習も必要と思われる。 ○平成29年度全国学力・学習状況調査の結果で国語Aのみ全国平均を下回っていました。分析結果を今後の学習に反映していただきたいです。
改善方法に向けての意見	<ul style="list-style-type: none"> ○これまでの取り組みは継続に加え時代に合わせた変化もお願いしたいと思います。 ○これまでの取り組みを継続し、これからも学校・地域・保護者の連携を深めて、開かれた学校であってほしい。 ○地域との連携をより密にし、様々な場面で協力し合える体制づくりが必要だと思います。そのための取り組みも検討をお願いします。 ○ホームページ等の充実をお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> ○道徳教育や植物に触れるなかで、豊かで優しい心をもつ人に育ち、いじめのない明るい学校になるよう、今後も取組の充実をお願いします。 ○子ども同士、またまた先生同志、先生と子どもたち、お互いを大切に思う心をこれからも育ててほしいと思います。 ○清掃活動はぜひ継続を希望します。また、「なぜ清掃するのか」という指導も折に触れお願いしたいと思います。また、挨拶や清掃など、「当たり前」のことを「当たり前」と思えるよう、指導をお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎学力の定着に関する取組は、今後も継続をお願いします。 ○全校で取り組んでいる朝学の視写・読書・漢字や基礎学タイムの計算の復習や作文指導は今後もさらに続けて取り組んでほしいと思います。 ○子ども主体の授業づくりを、先生方の知恵でより充実した内容になることを希望いたします。

4 その他のご意見

<ul style="list-style-type: none"> ○小学校の6年間は、自他を大切に心やコミュニケーション力を育む基盤となる期間であり、また基礎学力においても、これから先の人生には大切な学力です。学校・保護者・地域が連携し子どもたちの成長のための取組を進めていくことが更に必要と考えます。 ○子どもたちが心身ともに成長していく過程に、学校生活は大変重要な役割を担うものと思います。開かれた学校をめざすことは子どもたちに他者を受け入れる開かれた心や認める心を育むことにもなると思います。子どもたちに道徳の授業等によりルールやマナーなどの規範意識を育み、何事にも対応できる強く広い心を育てていくことが必要だと思います。 ○学校・保護者・地域がより密に協力し合い、意見を出し合い、良いものについては積極的に実践し、より充実した学校運営に繋がることを期待します。 ○今年度の取り組みについては、いずれも次年度以降も継続をお願いしたいと思います。
